

岡山済生会総合病院治験審査委員会 会議の記録の概要（2022年6月分）

開催日時	2022年6月9日（木） 16時30分～17時18分
開催場所	岡山済生会総合病院 管理棟4階 第1・2会議室
出席委員名	那須 淳一郎、田中 弘之、桑木 健志、川上 恭弘、南石 良子、高橋 由紀恵、木村 泰治、則武 有美、南本 一志、山田 宗志

【岡山済生会外来センター病院からの審査委受託治験】

1. 継続治験

課題名	成分記号	開発相	対象疾患 (Ⅲ相以降)	依頼者	内容及び結果
シミック株式会社（製造販売後臨床試験国内 管理人）の依頼による Filgotinib の関節リウ マチ患者を対象にした長期継続投与試験 ※製造販売後臨床試験へ移行済み	Filgotinib	Ⅳ*	関節リウマチ	（製造販売 後臨床試験 国内管理人） シミック株 式会社	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について 審議した。 審議結果—承認 治験に関する変更申請があり、治験の継続実施の妥当性について審議 した。 審議結果—承認
EPS インターナショナル株式会社（治験国 内管理人）の依頼による小児成長ホルモン分 泌不全性低身長症患者を対象とした MOD- 4023 の第Ⅲ相試験	MOD-4023	Ⅲ	成長ホルモン分 泌不全性低身長 症	EPS インタ ーナショナ ル（治験国 内管理人）	治験に関する変更について報告した。 審議結果—了承

従来型/生物学的 DMARD の効果が不十分な中等度から重度の活動性関節リウマチ患者を対象として、GSK3196165 の有効性及び安全性をプラセボ及びトファシチニブと比較する試験	Otilimab	III	関節リウマチ	(治験国内管理人) IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認 治験に関する変更申請があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認
関節リウマチ治療における GSK3196165 の長期安全性及び有効性を評価する試験	Otilimab	III	関節リウマチ	(治験国内管理人) IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認 治験に関する変更申請があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認
日本イーライリリー株式会社の依頼によるクローン病患者を対照とした LY3074828 の第Ⅲ相試験	LY3074828	III	クローン病	日本イーライリリー	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認
PRA ヘルスサイエンス株式会社の依頼による日本人小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象とした lonapegsomatropin の第 3 相試験	Lonapegsomatropin	III	小児成長ホルモン分泌不全性低身長症	(治験国内管理人) PRA ヘルスサイエンス株式会社	治験に関する変更申請があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認
JR-142 の小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象とした第Ⅱ相試験	JR-142	II	小児成長ホルモン分泌不全性低身長症	JCR ファーマ	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認
A PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH	Ozanimod	II/III	潰瘍性大腸炎	ブリストル・マイヤーズ スクイブ	安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果—承認

<p>MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS.</p> <p>日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMOD を経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第 2/3 相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験</p>					
<p>中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 II/III 相, ランダム化, 二重盲検, プラセボ及び実薬対照, 並行群間比較, 多施設共同試験</p>	Guselkumab	II/III	クローン病	ヤンセンファーマ	<p>安全性情報等に関する報告があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果－承認</p> <p>治験に関する変更申請があり、治験の継続実施の妥当性について審議した。 審議結果－承認</p>

【報告事項】

- ① 2022年6月1日現在の治験の実施状況の報告をした。
- ② 治験事務局の活動を報告した。(2022年5月分)